



21西尾

21世紀にかける西尾市民会議 (2025.11.3) No.157

のりこ & のりゆきの 辛口議会だより



ひろ おおぶ ろしき
広げた大風呂敷…
ツケ
借金は
だれ ほん
誰が払うのか?!

No.157

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

「隠居 熊さん

「隠居

熊さん

「隠居

熊さん



「隠居 熊さん

熊さん

「隠居

熊さん

「隠居

熊さん

「隠居

熊さん

「隠居

熊さん



「隠居

熊さん

「あっさり前だけ、べらぼうめ!! 3カ年計画にもなかった生涯学習センターの新設、温水プールの建設、市に金が落ちないにおマラソン、みな、市長の「ハコ物好き」「大盤振舞い」じゃねえか!!

「職員たちは「財政危機」に真っ青なんだが、肝心の市長がホントに判っているかどうかなんだよ。」

「そもそも、そんな綱渡りのような予算組みでやってきたこと自体が問題だが、チマチマした節約や事業の一部の削減程度じゃ切があかねえだろ!!」

「お前さんの言う通りさ。市長は、議会で「聖域なき見直し」をすると答えながら、裏では、来年の予算編成さえやっつければ、後は何とかなる...と言っているようだから、ノー天気過ぎるよ。」

「冗談じゃないぜ、そりゃ、無責任過ぎる。」

「そう。根本から「大型建設事業」を見直さなきゃあ、一般市民への基本的サービスが回っていかなくなるよ!!」

「市は「9月以降は全庁を挙げて事業の精査」に取り組み、先送り可能な事業は取止めるよう検討していく。現在執行中の事業も、可能なものについては、変更を検討していく」と言ってるが...」

「どういことなんだよお??」

「騒ぎの発端は、9月議会、市長が「令和7年度の市の財政は非常に深刻な状況だ」と明らかにしたことさ。」

「なんだよ、そりゃ!？」

「市には、財政調整基金という「貯金」があつて、65億円程度をキープしてきたが、このところ「予算」を組む際には、その過半を取り崩して「収入」に入れて膨らましてきたんだ。」

「おう、令和7年度は28億円を取り崩したよなあ。けど、これまでは地方交付税や税収で、基金に戻せたんだろ。」

「そう。令和6年度までは、それでやり繰りできた。ところが、今年の地方交付税は、市の見込み19億円を大きく下回る15億円余しかなかった。税収も伸びずに減収だ。あれやこれやで、結局、取り崩した28億円は全く戻せずぽっかり穴が空いちまった。」

「おいおい、じゃ、基金の残高は37億円かよ。令和6年の半分じゃないか。」

「そう。だから、来年度予算をこれまでみたいに組んだら令和8年度末で基金は枯渇する。」

「それだけじゃない。中村市政では、借金は増える一方だ。令和5年は37億増、6年は80億増、7年は59億円の増で、市債の総額は、今や405億円にもなる。」

「中村市長が、大風呂敷を広げてるせいだね。」

「どうするんだよお!？」

「おいおい、ご隠居さん。市役所じゃあ、来年の予算が組めないって大騒ぎなんだってえ!？」

「おう、そりゃ、これまで、市長が貯金まではたいて、大盤振舞いしてきたそのツケが回って来たってことさね。」

※市の普通建設費は令和2年度の86億円が令和6年度には150億円(決算ベース)になり、令和7年度予算では130億円です。

生涯学習センター建設費5割増しに!!

〔隠居〕生涯学習センター新設は、令和4年に国の補助金が6億円つくというので、市長が急に実施を決めた事業だ。市の3カ年計画にも入っていないから、議会は否定的だった。建設は※2つの施設を統合して、床面積も経費も減らす。公共施設再配置の原則で進めるという話だった。

〔隠居〕そう、金はかけない、ランニングコストもかからない設計にして「総事業費は20億円まで」というので、議会も、それならと渋々認めただ。ところが、市長が初の公募コンペ方式で決めたデザインは、スタイリッシュな凝った造りだ。費用がかかりそうで、俺ら、心配してたんだぜ。

〔隠居〕案の定、市長は、令和5年に、3億円も予算を増やした。工事入札直前の今年6月議会には、さらに、3億9千万円も増やそうとするので、のりこ議員(当時)始め何人も議員が反対したんだ。だが、市長べったりの議員たちが賛成して、増額が通っちゃった。

熊さん それに、2つの施設を1つにするのに床面積は1割しか減らないし。維持管理費は4800万円が5000万円になると言ってたが、今じゃ6800万円だという。こりゃ「居直り」だけ。ランニングコストの見込みも、市長は、未だにハッキリさせないままだ。

熊さん おいおい、再配置の原則(コスト縮減・将来負担の削減)など、どこにもないじゃねえか!!

〔隠居〕それどころか、驚くべき。実は「総事業費は30億円を越す」っていうんだよ。

熊さん ええ、それじゃ最初の話から5割増しになっちゃまうぜ!! ぶざけんじゃねえよ!!

〔隠居〕中村市長は「補助金がもらえるなら、何にでも飛びつく」「自己負担の金額など意に介さない」とにかく、その事業が本当に必要なかどうかを精査しないのが市長の「補助金病」の症状だ。

熊さん 議会(市民)との約束なんてどこへやら...市長の脳天気も極まれりだ!!

大型建設事業...とれを取り止める??

熊さん 市長は、先送り可能な事業は取り止めるよう検討すると言ってるが、どうするんだよオ。

〔隠居〕9月議会では、杉浦こうき議員が質問したが...市側の答弁は、①②の②以下の通りだった。

① 上横須賀駅周辺の整備事業
(総事業費18億円/補助金8億円)

② 生涯学習センターの整備事業
▼国の補助金を受け、5年以内に成果指標の達成が必要なので先送りは出来ない。

③ 補助金対象期間が令和8年までで契約を終えているので先送りはできない。

④ 西尾駅東広場の整備事業

(3億4千万円/補助金1億4千万円)

⑤ 令和8年までの計画期間で補助金を受けており、達成できないと返還が必要。

⑥ 西尾城大手門跡および岩瀬文庫整備事業他

(7億5千万円/補助金2億9800万円)

⑦ 令和8年末までに完了予定で補助金を受けているので先送りは出来ない。

⑧ にしおマラソン事業

(1億2千万円/補助金1900万円)

⑨ 補助金は、今年で終了。

⑩ 屋内温水プール建設事業(補助金未定)

⑪ 今年は基本計画を策定。

⑫ 結婚支援事業(500万円/補助金なし)

⑬ 91万7千円の削減を考えている。

熊さん

ハッキリ答えたのは、⑦の91万円ポッキリかよ。結局、どれもそのまんまじゃねえか!!

〔隠居〕

何度も言うが、市長は、補助金がつく事業なら採用する方針だった。そこが間違いの元だよ。

熊さん

本当に市民のためになるかどうかを考えなきゃ。温水プールだって、将来もずっと小学校の授業

〔隠居〕

に必要かどうか分からないみだぜ。

熊さん

今回の財政危機に「聖域なしに見直す」と言ったのは市長自身だ。来年度の予算編成の山場はこの

熊さん

12月だ。それ迄にマラソンも温水プールも取り止め方針をハッキリさせなきゃなるまい。発言

〔隠居〕

に責任を持たなきゃトップの資格はない!!

熊さん

温水プールについては「あのままPFI事業でやっておけば、物価高騰もなく費用も安く済

〔隠居〕

んだのに...」と言ってる議員がいるらしいぜ。

熊さん

そりゃ、違うね。建設場所は物理的に無理な寺津小の校庭だったし。SPCとの契約では、物

〔隠居〕

価高騰も人件費高騰も、皆、合わせて値上げすることになってたじゃないか。その議員は、

熊さん

契約書を読んでないのかねえ。

〔隠居〕

他市では災害時の避難場所にもなる学校体育館の冷暖房工事を進めているが、西尾はどうなん

熊さん

でえ?

〔隠居〕

ようやく特別教室の冷房化が済んだところで、体育館は手つかずだ。小中併せてざっと7億円

熊さん

必要だというね。

〔隠居〕

市長の選挙公約の高校生の入院費用の無償化では来年から年間8千万円も増えるんだぜ。

熊さん

職員給与は、人事院勧告で、新たに4億数千円が必要だ。予定外にふくらむ経費もあるんだ。市長さんよオ、どくするんだい!?

※2 施設とは、「中央ふれあいセンター」と「にしお市民活動センター・アクティビーにしお」 ※施設建設では、建設費よりも将来にわたるランニングコストの方が巨額になるのが問題なのです。